

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	歩道等整備事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	若泉哲也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	第2次歩道等整備5箇年計画の最終計画年となるため、これまでの検証と新計画策定。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	歩道等総合整備計画の推進。
②①に基づく取り組み結果	歩道等総合整備計画(案)を策定した。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	歩行者と車両の動線が輻輳している箇所	意図(対象をどうするのか)	交通事故の減少
②事務事業の概要	歩道等整備5箇年計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯・ガードレール・道路反射鏡・道路標識等の交通安全施設の整備を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	市民意識調査にて、交通安全対策への不満足度は40%、重要度は82.8%と市民の関心は高い状態にあるが、市内の人身事故は減少傾向にある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	区画線設置2281m、カラー舗装316.0㎡、道路反射鏡設置18基、道路照明灯設置1基				
②成果を表す指標	指標名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	算定根拠
	i 交通事故発生件数	487	440	415	件 業務取得
	ii 人口千人当たりの交通事故死傷者数	5.3	4.6	4.6	人 業務取得
	iii				
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳		平成28年度予算
事業費(千円)	20,544	14,985	金額(千円)	内容	15,000
国支出金(千円)	0	0	292	交通立看板作製委託	0
県支出金(千円)	0	0	14,693	歩道等整備工事	0
市債その他(千円)	0	0			0
一般財源(千円)	20,544	14,985			15,000

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	歩道設置には予算と時間が必要なため、本事業による新規対策箇所は増加すること及び対策済み箇所の維持管理費用も増加することが予想される。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価 6精査・検証
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	道路の機能管理面から安全確保をする責務があるため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備	平成27年度事業費の状況(単位:千円)					
		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績	道路区画線、道路反射鏡の整備、道路標識・交通看板整備	15,000	15,000	当初	15,000	H26からの繰越	0
				H26⇒27繰越	0		
③達成状況	完了			補正	0	#####	現年分 14,985
④未完了・非着手の理由				流用・充当	0		
		平成28年度への繰越額(単位:千円)		0			

平成28年度 鎌ヶ谷市事務事業評価表(事後)(標準評価表)

事務事業名	交通安全施設更新事業	会計	款	項	目	多額経費
		一般	8	1	4	○
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	担当課室	道路河川管理課			
施策	231交通安全の推進	担当課室長	若泉哲也			

I 改革・改善内容(=事務事業をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	道路付属施設の点検方法について検討を行う。	③平成28年度に取り組む改革・改善内容	市の点検方法について、国が制定準備を進めている新たな点検方法を参考に制定を行う。
②①に基づく取り組み結果	国の点検方法を検証するなど、市の点検方法を定める準備を行った。		

II 事務事業の目的・概要

①目的	対象	道路照明灯・道路反射鏡等の安全施設	意図(対象をどうするのか)	更新を行い、全ての人々が安心して、道路を通行できるようにする。
②事務事業の概要	経年劣化により老朽化した各種安全施設(道路照明灯・道路反射鏡等)の更新を行う。			
③環境分析(事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など)	道路施設の点検が法令で義務化されるなど、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理方式への転換に対応する必要がある。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27年度の事業の成果	○道路照明灯更新 10基					○道路反射鏡更新 0基		○大型標識点検調査 0基	
②成果を表す指標	指標名称		平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	算定根拠		
	i	交通事故発生件数	487	440	415	件	業務取得		
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	5.3	4.6	4.6	人	業務取得		
	iii								
③事務事業のコスト	平成26年度決算	平成27年度決算	平成27年度決算(事業費)の主な内訳			平成28年度予算			
事業費(千円)	5,910	3,899	金額(千円)		内容		5,000		
国支出金(千円)	0	0	3,899		交通安全施設更新工事		0		
県支出金(千円)	0	0					0		
市債その他(千円)	0	0					0		
一般財源(千円)	5,910	3,899					5,000		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	市民要望やパトロールにより随時行う補修・更新と並行して、老朽化対策として事後保全型から予防保全型の維持管理への対応。				
②評価	i 市関与の妥当性	3高い	iii 公平性	3高い	v 総合評価
	ii 有効性	3高い	iv 効率性	3高い	
③上記評価の理由	法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。				

V 多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

①平成27年度の計画	道路照明灯調査・工事	平成27年度事業費の状況(単位:千円)						
		計画事業費	予算額		決算額			
②計画に対する事業実績	道路照明灯調査・工事	5,000	3,899	当初	5,000	3,899	H26からの繰越	0
				H26⇒27繰越	0		現年分	3,899
③達成状況	完了			補正	0			
④未完了・非着手の理由				流用・充当	-1101			
				平成28年度への繰越額(単位:千円)		0		